

京の都に
出没する
自転車妖怪
け
チャリの怪図鑑

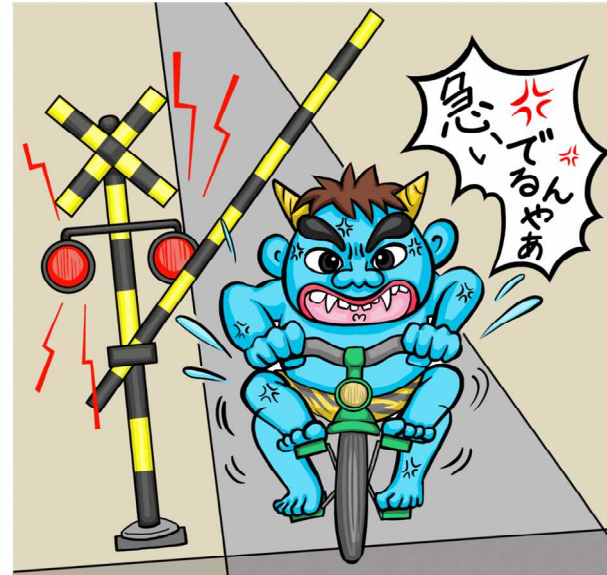
危険な自転車妖怪たちの
特徴を解説するぞ！

安倍巡査部長

道路交通法を駆使して、自転車
妖怪と戦う京都府警察官。
実家は神社。



急鬼 (いそぎ)



常にあわてており、猛スピードで自転車に乗る妖怪。

一時停止の標識も、しゃ断機が下り始めた踏切も、

「急いでるんや」

と叫びながら、止まらず突っ切る。

逆さ小僧 (さかさこぞう)



決められたルールの逆をするのが大好きな妖怪。
「自転車は左側通行」と言われれば、右側を走る。
「通行禁止です」と言われれば、わざとそこを通る。

闇坊主 (やみぼうず)



明るいのが苦手で、闇をこよなく愛する妖怪。
自転車に乗る時は、絶対に前照灯をつけない。
自分の体も真っ黒なので、その姿はまさに
“闇夜のカラス”
で、どこに居るのか全く分からない。

二人火 (ふたりび)



常に二人組で現れ、自転車に二人乗りする妖怪。
飛べるので自転車に乗る必要は無いように思われる
が、一説によると、自転車に二人乗りしていて交通事
故に遭った人の魂で、二人乗りに捉われているらしい。

赤無視入道 (あかむしにゆうどう)



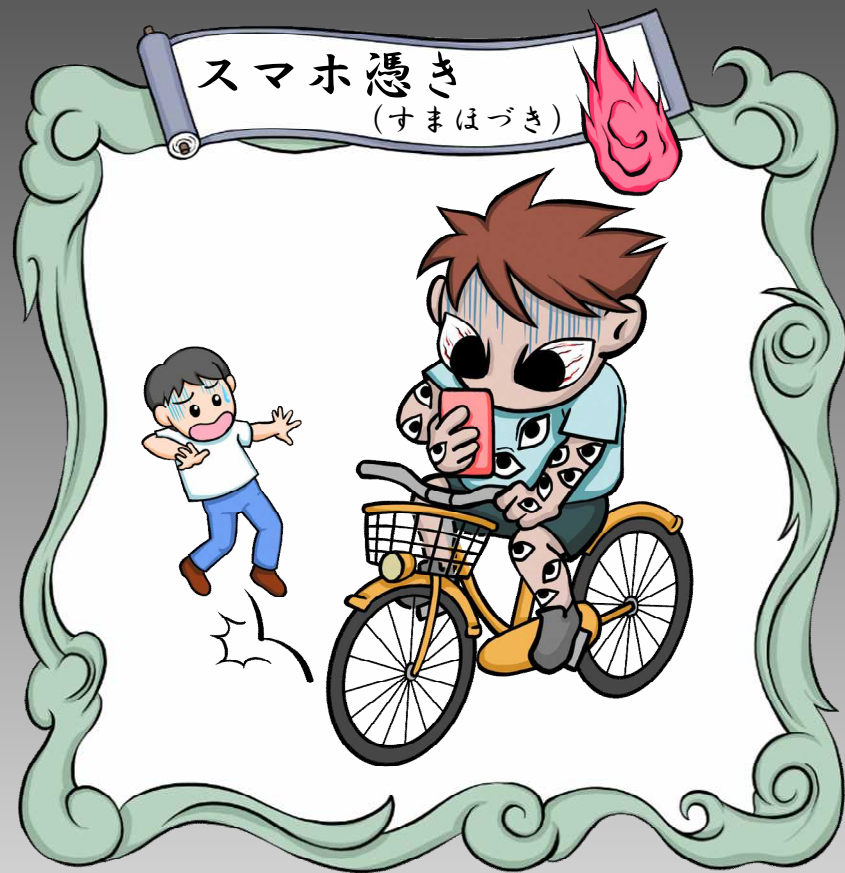
赤信号を絶対に守らない妖怪。
「車が来ていないのに、止まる必要ないのじゃ」と
言う。
ちなみに車が来ていても、「車の方が止まればいい
のじゃ」と言う。
つまり、どっちみち信号は守らない。



三度の飯より酒が好き。
常に酒を飲んでおり、酒を飲むために生きている妖怪。
「酔ったもん勝ちよう」
が口癖で、ベロベロに酔っばらって自転車を運転する。



スピード狂の狐の妖怪。
安全と言う概念が無い。
「停止する」ということが頭に無く、安全に止まれるブレーキが付いていない自転車に乗り、ひたすら高速で走り回る。



スマホに取り憑かれた妖怪で、片時もスマホを離すことができない。

スマホを見るために全身に目があるが、全ての目がスマホを見ており、周囲のことは一切見ていない。

仲間に、イヤフォンをつけて自転車に乗る

「イヤフォン憑き」

がいる。